

2021/6/28

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(6月21日～6月25日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,135.5	1,138.8	1,126.8	1,127.7	▲4.6
JPY/KRW	10.3040	10.3731	10.1642	10.1732	▲0.116
KOSPI	3,264.18	3,316.08	3,225.56	3,302.84	+34.91

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場はやや反落した。21日のドル/ウォンは1,135.5でオープン。米国の早期利上げを懸念した米2年債利回りが急上昇する一方で、米10年債利回りが一時1.36%台まで下落する等フラットニングが進行する中、新興国通貨全般が売られドル/ウォンも週高値1,138.8ウォンまで上昇した。しかしそこでは水準感から実需のウォン買いが入り反落。海外時間に入ると、米国の早期利上げを織り込みすぎたとの見方が広がる中、一転してリスクオンムードに。22日にはドル/ウォンも1,131.1まで下落した。さらに、数日にわたってパウエルFRB議長およびNY連銀総裁を始め複数のFRB高官が、インフレ上昇は一時的であり雇用の最大化には時間がかかる旨の発言を行ったことで市場全体が落ち着いた相場となった。24日海外時間にはバイデン政権と上院超党派が1兆ドル規模のインフラ投資法案を合意したことや、実需のウォン買い等を受けドル/ウォンは1,126.8まで下落。結局、4.6ウォン安の1,127.7ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや上値の重い展開を予想。バイデン政権によるインフラ投資法案合意やFRB高官による早期の利上げに対する慎重な発言を踏まえ、市場は再びリフレレートに戻りつつある。韓国も好況な景気回復が確認されており、突発的なニュースが出ない限り、ドル/ウォンが上昇することは考えにくい。さらに今月は半期末であることから、通常月より大きいことが予想される実需のウォン買いフローも期待できることから、ドル/ウォンは下落することを予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1115 ~ 1140	10.05 ~ 10.35	109.8 ~ 111.8

USD/KRW チャート (Source: Bloomberg)



JPY/KRW チャート (Source: Bloomberg)



今後の予定

- 29日(火) 欧 6月 消費者信頼感指数 確報値
日 5月 失業率
米 6月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 30日(水) 日 5月 鉱工業指数 速報値
米 6月 ADP雇用統計
中 6月 製造業PMI
中 6月 非製造業PMI
- 1日(木) 米 6月 製造業PMI 確報値
欧 6月 製造業PMI 確報値
米 6月 ISM製造業景況指数
日 2Q 日銀短観
- 2日(金) 米 6月 非農業部門雇用者数
米 6月 失業率
米 5月 製造業受注
韓 6月 CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。